

伊達政宗 「独眼竜」



伊達政宗は、陸奥の国（今の宮城県）のぶ
しょうです。子どものころ、びょうきで右目
が見えなくなりましたが、くじけずに心と
からだ
体をきたえました。やがて、黒いよろいに三
づき
日月のかぶとをつけたすがたから「独眼竜」
とよばれ、東北で一番強いぶしうになりました。
した。

政宗はおしゃれでもゆう名で、かつこいい
ひと
人を「伊達者」とよぶのは、政宗の名前から
きたといわれています。

また、政宗は外国にも目をむけ、大きな船
をつくって、けらいを遠いヨーロッパへおく
りました。

政宗がつくった仙台のまちには、たくさん
の木がうえられ、「もりのみやこ」とよばれ
ています。仙台みそや、ずんだもちなどのお
いしい食べものも広めました。

せんたく(1)

政宗は何とよばれていましたか？
えらんで○をつけましょう。

- ① 雷神
- ② 独眼竜
- ③ 武神

せんたく(2)

政宗が広めた食べものはどれですか？
えらんで○をつけましょう。

- ① 仙台みそ、ずんだもち
- ② すきやき
- ③ フーメン

きじゅつ(1)

政宗のかぶとについていたものは何でしょうか？

きじゅつ(2)

仙台のまちは今、何とよばれているでしょうか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) はる

(2) ふゆ

(3) かたち

--	--	--

こたえ

伊達政宗^{だてまさむね}

せんたく

(1) ②
(2) ①

きじゅつ

(1) みかづき
(2) もりのみやこ

かん字

(1) 春^{はる}
(2) 冬^{ふゆ}
(3) 形^{かたち}